

平成27年度

全国学力・学習状況調査から見る 御前崎の子どもたち



「全国学力・学習状況調査」は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図ることが目的とされています。
調査結果から見える「御前崎の子どもたち」の状況をお伝えします。

教科(国語、算数・数学、理科)の力

教科		小学校	中学校
国語	A	○	△
	B	◎	△
算数・数学	A	○	△
	B	△	△
理科		△	○

◎全国平均よりやや高い ○全国平均とほぼ同じ △全国平均よりやや低い

生活や学習の状況

学習や生活に関する児童生徒質問紙からは、全国と比較して次のようなことがわかりました。

※() は、全国平均と比較したポイントです。



子どもたちのよいところ

- ・学校に行くのは楽しい 【小(+5.5)、中(+1.1)】
- ・自分には、よいところがある 【小(+7.6)、中(+7.1)】
- ・自分の考えや意見を発表することが得意 【小(+8.1)、中(+6.9)】
- ・地域の行事に参加している 【小(+22.8)、中(+38.4)】

子どもたちについて考えていきたいこと

- ・週1回以上、学校図書館や地域の図書館に行く 【小(-7.9)、中(-3.3)】
 - ・週1日以上、新聞を読む 【小(-1.9)、中(-3.5)】
 - ・携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットを2時間以上する 【小(-0.8)、中(+5.9)】
- ※中学で増加の傾向にあります。

グローバル化や情報化をはじめとする社会の急激な変化により、子どもたちは多くの情報から、必要なものを選んだり、複数に関連づけたりする力が必要となります。御前崎の子どもたちに課題があった問題を紹介します。

問題文と資料(図や表、グラフ等)を関連づける力

1 魚つりについて教えてやりたい。
2 いっしょに魚つりをしたい。
3 魚つりについて教えてもらいたい。
4 学校でアユの魚つりをしてみたい。
5 魚つりには興味がないのでえんりしました。

【人物関係図】

【問い】 次は、「物語の一部」をもとにした「人物関係図」です。図の中の□、△の中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。ただし、同じ番号は一度しか使えません。

「登場人物の相互関係」に関する出題です。

「おじいちゃんとお父さんはいっしょに魚つりをしたい。」と文中に書いてあるな。

お父さんはつりにさそっているから、いっしょに魚つりをしたいんだね。

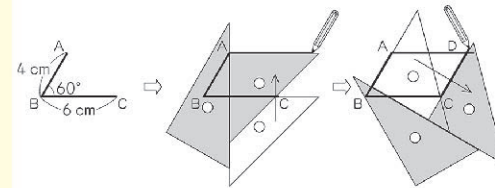
ぼくはつりに興味がないようだ。

よし！3人の関係がわかったぞ！！



日常の事象の解決に必要なものを選択し、根拠をもって説明する力

下の図のように、最初に、角Bが60°になるように辺ABと辺BCをかきました。そして、三角定規を使って点Aを通る直線と点Cを通る直線をかきました。



上の三角定規を使ったかき方は、左の平行四辺形の持ちようの中の、どの持ちようをもとにしていますか。

左の平行四辺形の持ちようの②、④、⑦の中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

「平行四辺形をかいたためのもととなる持ちよう」に関する出題です。

三角定規2枚を使った平行四辺形のかき方を4年で学習したな。60°という角の大きさは、このかき方に関係ないね。

これは、向かい合った2組の辺が平行になる持ちようをもとにしているね！



〈家庭で大切にしたいこと〉

1. 本や新聞を読むこと
2. 携帯電話やスマホの利用、ゲームについて約束を決めること

